

# 棚田 ライステラス

創刊号 1996.1.15

(季刊・年4回発行)

発行／全国棚田(千枚田)  
連絡協議会  
編集／ふるきやらネットワーク・木村美江  
〒160 東京都新宿区若葉1-6  
TEL 03-3355-0420/FAX 03-3355-4220

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

昨年は、農林水産省・自衛省・国土庁・環境庁・文化庁をはじめとする関係機関のご後援、協賛を賜り全国各地からお集まりいただき、梼原町で第一回全国棚田(千枚田)サミットが盛大に開催できましたことに心より厚くお礼申し上げます。

特に、日本の水田の一割を占める棚田は、農業の担い手の高齢化や後継者不足により、耕作

が放棄され荒廃による環境保全、国土保全機能の著しい低下も懸念されています。

私たちの農山村には、棚田を含め、守るべき豊かな自然や地域文化が数多く残されております。その地域資源は、私たちが生活を営む上で欠かすことのできない重要な役割を果たしております。一方で、国民は「物」の豊かさより「心」の豊かさ、生活の利便性より自然とのふれあいを求めるなど価値観の変化が進行し、経済社会の様々な面で質的向上を目指し、健康でゆとりのある暮らしの大切にされています。

皆様には、それぞれの地域で独自の取り組みをなされているとは存じますが、本協議会の趣旨をご理解いただき、さらに交流と連携の強化を目指して、多くの国民の方々にご理解とご支援をいただきたく積極的に取り組んで参りますので、今後ともご指導ご鞭撻をお願い申上げます。

最後になりましたが、皆様の限りないご多幸をお祈りいたしまして、ごあいさつといたします。



高知県梼原町長  
全国棚田(千枚田)連絡協議会々長

## 中越 準一

私たちの農山村には、棚田を含め、守るべき豊かな自然や地域文化が数多く残されております。その地域資源は、私たちが生活を営む上で欠かすことのできない重要な役割を果たしております。一方で、国民は「物」の豊かさより「心」の豊かさ、

が放棄され荒廃による環境保全、国土保全機能の著しい低下も懸念されています。

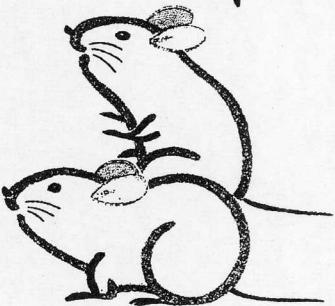
このため、農山村に伝えられた日本農業の文化遺産である棚田を通して、先人たちの知恵に学び、環境保全と農山村で希望を持つて生きる道を求めるために、全国棚田(千枚田)連絡協議会を設立し、二十一世紀に向かって第一歩を歩み始めたところです。

皆様には、それぞれの地域で独自の取り組みをなされていることは存じますが、本協議会の趣旨をご理解いただき、さらに交流と連携の強化を目指して、多くの国民の方々にご理解とご支援をいただきたく積極的に取り組んで参りますので、今後ともご指導ご鞭撻をお願い申上げます。

## 連絡協議会に支援を

新年と迎え皆様の  
ご多幸をお祈りします

謹啓 新年



### ● 目次 / Contents

連絡協議会に支援を／中越準一	1
連絡協議会に期待する／野中和雄	2
日本中に応援団を／岸康彦	
第一回棚田(千枚田)サミットに参加して	3
鍵岡正謹／佐藤仁／木戸幸子	
棚田保全の道・スタート(サミット報告)	4
全国棚田(千枚田)連絡協議会々員	5
全国棚田(千枚田)連絡協議会々員市町村紹介	6
インフォメーション	8

農村は、私たちが快適で安全な生活を営む上で重要な役割を果たしていくまです。食料など農産物を安定供給することはもちろんのことですが、水を湛えた水田、豊かな自然・景観があり、地域に伝わる伝統や文化も農村に住む人々によって守り育まれてきました。また、洪水や災害などの防止、水資源の管理など国土保全の役割も、そこで農業が當まれ農地が維持・保全されることによつて適切に守られてきました。

しかしながら、このような地域においては、過疎化・高齢化・農業の担い手の不足などにより、地域の活力の低下がみられ、耕作放棄地も増大する傾向にあるのが現状です。

一方、国民の価値観は経済優先から生活優先へ、量から質へ、物の豊かさから「心の豊かさ」へと変化しつつあるのも事実であり、「ゆとり」、「うるおい」、「やすらぎ」といった精神的な豊かさを求める傾向があります。また農村には、そんな豊かさを満たしてくれる魅力が多く残されています。

このような農業・農村の役割や期待、更には課題といった事項を象徴的に示す

## 連絡協議会に期待する



農林水産省  
構造改善局長

野中和雄

壊の原因となりかねない。棚田を持つ町村は、シンポジウムの報告書を取り寄せ読んで読む必要があるだろ」と紹介しておられます。

こういった中で、農林水産省としても、棚田をはじめとする農村の豊かな自然、文化・歴史などの地域資源を、地域の住民自らの手で保全していく活動を支援する「ふるさと水と土基金」等さまざまな施策を講じておりますが、棚田を有する市町村が、ネットワーク化を図り、情報の発信、交流、人材の育成等を積極的に行うため、全国棚田(千枚田)協議会を設置されたことは、非常に興味深く、意義あることと感じております。地域からのメッセージが全国に広がり、明日の農業農村をみんなで考える機会となることを期待しております。

## 日本中に応援団を



日本経済新聞社  
論説委員

岸 康彦

第一回全国棚田(千枚田)サミットは大成功だった。これを一過性のイベントに終わらせないためにも協議会の活躍に期待している。

棚田が日本農業のすばらしい遺産であることに異議のある人は少ないはずだ。それを維持するには、何よりも地元がそれを誇りとし、守り続ける意思を固めていただきなくてはならない。しかし現実には農村ほど高齢化が進んでおり、棚田を守るべき後継者は少ない。手間のかかる棚田で作った米だからといって、二倍、三倍の値段で売れるわけではないから、私たちが何もしなければ棚田の稲作は衰退せざるを得ないだろう。

棚田の景觀は国民みんなの財産であり、國土保全にも役立っているのだから、国民からの「感謝金」として農家の所得補償をするぐらいは当然だ。棚田に限らず、農政が所得補償の検討をいづまでもなおざりにしているのは納得できないことだ。

とはいって、仮に所得補償が実現したとしても問題が片づくわけではない。所得補償が行われても担い手の高齢化とは、それ自体は止められないからだ。とすれば、なんらかの形で自治体などの公共セクターが役割を果たすほかない。ナショナルトラストのように買い上げてしまうのが一番いいが、それが無理でもせめて維持管理に公的支援の手を差し延べたい。棚田を維持できるかどうかは、すでに一農家の意思や力を超えている。

同時に、負担を地元だけで背負い込まなくてすむ体制づくりが必要だ。互いに励まし合い、知恵を出し合い、政府や国民に共同でアピールできるネットワークとして、全国棚田(千枚田)連絡協議会が生まれたのは喜ばしい。

第二回全国棚田(千枚田)サミットは、佐賀県の西有田町で開くことが決まりましたという。西有田の町長・藤原さんと田才一郎町長の「千枚田オーナー制度」はまさに優れたアイデアだった。できれば児童・生徒たちに、教育の一環として棚田での田植えぐらいは経験させたいものだ。

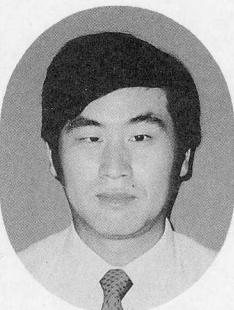
第二回全国棚田(千枚田)サミットは、佐賀県の西有田町で開くことが決まりましたという。西有田の町長・藤原さんと田才一郎町長の「千枚田オーナー制度」は彼がジャーナリストだったころから知り合いだ。応援団の一人として、私もぜひ参加しなくてはと思つてゐる。

寄稿

# 第一回棚田（千枚田）サミットに参加して

鍵岡 正謹

高知県立美術館  
館長



棚田サミットは楽しかつたし、有意義であった。何よりもまず、棚田とサミットの組み合わせがユーモアな人間性に満ちている。棚田は“耕到天”といわれるよう、天の頂きに至るまで水田を耕す。サミットは、

“頂上”を意味する。文字通り棚田こそ、生活文化のサミットである。

そうした人間的でユーモアに満ちた発想からなる棚田サミットであるが、現状は危機感に満ちている。僕自身は美術を専門としているので、棚田のある風景・景観に強く惹かれたが、棚田サミットに参加して、生態系保存、国土保全、歴史的な知恵などの持つ棚田の深い意義を教えられた。こうした棚田が危機にさらさされているのは、取りも直さず人が本来持っている豊

かな感性（＝第二の自然）の危機でもある。第一の自然と人間とが育む風景や景観が美しいと感じる感性が、第二の自然である感性を養ってきた。自然環境の危機は人間感性の危機である。

棚田は日本の、またアジアの人たちが脈々と築き上げた、実に見事なまでの誇るべき風景であり、景観であると心から思う。

それでも、私は昨年、高知県梼原町が発想した棚田オーナー制に応募して、一年生オーナーとなつたが、本物の農家のおばさんのお世話ばかりになる役立たずなオーナー農民であった。しかし、移り変わる素晴らしい四季と稲の生育の豊穣を満喫した。

ただ今、秋に収穫した新米をいただいている。本当においしい。

第一回棚田（千枚田）サミットには、目に見えない恩恵を受けている下流域、特に都市部の行政・住民から何

かの代償があつても良いと思う。

千枚田オーナー制度は、棚田の特性を知つてもらうために重要であり、現状を進めば必ず大きな災害が発生し、国土保全や景観・環境面にも悪い影響が出てくる。

国が進めている大規模農業は平野部を対象にしており、基盤整備もできないよう。

うな中山間地農業は、今後十年で大きく変わらだろう。同じ悩みを持つ市町村、何とかしたいと思つてゐる都市住民が知恵を出し合い、会の活動に期待したい。

第一回棚田（千枚田）サミットには、個人会員の参加者が以外に少ないと感じました。配布された会員名簿を見ても個人の加入者が非常に少ないと思いました。近頃では、盛んに環境保護や日本の風景を守ろうという声が大きくなっているのに不思議に思



佐藤 仁

新潟県松之山町  
東京事務所所長



木戸 幸子

横浜市

一昨年の秋だったと思ひます。全国棚田連絡協議会が発足した記事を新聞で読みました。棚田は日本のピラミッドとか文化遺産とか、その上、国土保全や環境保護の視点からも非常に大切なものだということを知りました。里帰り（新潟県松代町）の度に懐かしく眺める棚田の風景ですが、この風景が古代から人々と人の手で築かれ守られ続けてきた賜物であることに今まで思い至りませんでした。反省と、もっと詳しく知りたいという意欲にかられてサミットに参加しました。

梼原の町は澄み渡つた青い空に森と水が調和したとても美しい町でした。町民の方々の大歓迎を受けて開催された会場の中で、まず目に止まりましたことは、個人会員の参加者が以外に少ないと感じました。配布された会員名簿を見ても個人の加入者が非常に少ないと思いました。近頃では、盛んに環境保護や日本の風景を守ろうという声が大きくなっているのに不思議に思

いましたが、やはり棚田や千枚田という言葉そのものが私達の生活から遠いところへ行つてしまつていて表れでしょうか。

このままでは自然消滅してしまいそうな棚田ですが、この会を軸にして、その大切さと残つてゐる地域の素晴らしさをもつともっと発信していただきたいと思いました。その後、東京の高野光世さん（個人会員）の呼びかけで個人会員の立場から、一般の人達に支援を働きかける分科会的なものができました。

それからこれは極めて私的なことです。故人となつた妹の記念館なるものを松代町に建てました（平成七年九月）。周りには棚田が多く残っています。手近な都会に住む友人達を集め、地主さんのご好意に甘えて田んぼの作業をやらせてもらおうと考へています。

このサミットで得た知識をもとに、棚田とは何ぞやと受け売り講座に花を咲かせ、理解者を少しでも増やしていくらと思います。

# 棚田保全の道・スタート

## 第1回全国棚田(千枚田)サミット報告



は棚田にあつたという。

「北淡町には多くの棚田がある。

雨水は田を耕しながらゆっくりと  
棚田の下段へと流れていき、一方  
で地下へ染み込んで豊富な井戸水  
となり、他方では周囲にある二万  
四千五百ものため池に注ぎ込む。

この棚田が作る水利のおかげで解

決が早かつた。また、国土保全・  
生態系保全・食料生産・教育文化  
の観点からみても棚田は評価され  
るべき。これらが正当に評価され  
ないのは、市場のメカニズムが経  
済効率のみを追求してきたからで

自由化と規制緩和の中で、生産効  
率の悪い棚田はすっと野放しにさ  
れてきた。棚田の広域的な機能は、  
市場で売り買いできない国民的な  
ものである」と千賀氏は語った。

### 直接所得補償を 求める声、相次ぐ

山の斜面に沿い、天へ天へと階段状に広がる棚田。大き  
な田にも、抱えられそうなほど小さな田にも、一つずつ月  
が写ることから「田毎の月」とも呼ばれている。しかしそ  
の棚田も、今では休耕田となり崩れきっている。棚田の荒  
廃を止め、地域活性化へつなぐ道を探ろうと、平成七年九  
月二十八、二十九日、高知県梼原町で第一回サミットが行わ  
れ、一四二市町村、一、一七一人が参加した。

### 棚田は21世紀の 貴重な財産

「棚田のきのう(過去)きょう(現  
在)あした(明日)」をテーマに開か  
れたサミットでは、全国棚田(千  
枚田)連絡協議会が正式に発足。

棚田は21世紀の貴重な財産。生  
態系の保全という面からも役割は  
今後ますます大きくなつてくる。

「棚田は21世紀の貴重な財産。生  
態系の保全という面からも役割は  
今後ますます大きくなつてくる。  
そうした中でのサミット開催はう

れしい」とあいさつ。また「棚田

は農民が築いたピラミッドで、日  
本の農業の原点とも言える。熱い  
気持ちを注いで欲しい」と活発な  
意見を求めた。

基調講演は、東京農工大学の千  
賀裕太郎助教授が「棚田は生きて  
いる」をタイトルに講演。千賀氏  
は、棚田の水の循環機能について  
は、「棚田は生きている」と説明した。  
阪神大震災を例に説明した。それ  
によると、震源地であった淡路島  
は、棚田の水の循環機能について  
は、「棚田は生きている」と説明した。  
千賀氏は、「棚田は生きている」と  
いうことをアピールした。

農水省構造改善局開発課長補佐  
の小泉健氏は、「デカップリング  
導入は重要な問題。平成五年度に  
「ふるさと水と土基金」を創設し、  
ワークの強化を図つていきたい」

農村の豊かな自然を地域の人が自  
分たちで守る活動を支援している。

地域の取り組みに対する地域の  
活性化を図る。②棚田(農山村社会)

の大切さとその必要性について、知

恵を絞り、工夫を凝らせて地域の  
活性化を図る。③棚田(農山村社会)

の果たしている国土保全や生活・

保健環境などの公益的な機能を適

正に評価し、その維持増進に要す

る経費について財政支援を求める。

また、季刊誌「棚田・ライステ  
ラス」の創刊などを決定。さらに

第二回目の開催地として佐賀県西

有田町を選んだ。

また、季刊誌「棚田・ライステ  
ラス」の創刊などを決定。さらに

第二回目の開催地として佐賀県西

有田町を選んだ。

棚田の今姿は、問題の多い日  
本の農業の姿を浮き彫りにしてい  
る。しかし、棚田が私たちの生活  
にもたらしている恩恵や役割につ  
いて、あまり注目されていない。

千賀氏は、「棚田を失うことは  
命の基盤を捨てる行為」と話す。

その言葉は、都市の住民にとって  
も無関係ではない。このサミット  
をきっかけに、まずは棚田の存在  
を知つてもらい、有益な機能とそ  
の景観美をもつと多くの人に理解  
してもらえたと思う。また、そ

のことにより中山間地域で農作業  
をする方々に誇りを持って頂けた  
らと願わざにはいられない。

### 第一回サミットを 終えて

棚田の今姿は、問題の多い日  
本の農業の姿を浮き彫りにしてい  
る。しかし、棚田が私たちの生活  
にもたらしている恩恵や役割につ  
いて、あまり注目されていない。

千賀氏は、「棚田を失うことは  
命の基盤を捨てる行為」と話す。

その言葉は、都市の住民にとって  
も無関係ではない。このサミット  
をきっかけに、まずは棚田の存在  
を知つてもらい、有益な機能とそ  
の景観美をもつと多くの人に理解  
してもらえたと思う。また、そ

のことにより中山間地域で農作業  
をする方々に誇りを持って頂けた  
らと願わざにはいられない。

と連絡協議会の重要性を語った。

サミットの最後には共同宣言を  
全会一致で採択。宣言要旨は次の  
通り。

①定住基盤を着実に整え、地域  
資源を総合的に生かすために、知

恵を絞り、工夫を凝らせて地域の  
活性化を図る。②棚田(農山村社会)

の大切さとその必要性について、知

恵を絞り、工夫を凝らせて地域の  
活性化を図る。③棚田(農山村社会)

の果たしている国土保全や生活・

保健環境などの公益的な機能を適

正に評価し、その維持増進に要す

る経費について財政支援を求める。

また、季刊誌「棚田・ライステ  
ラス」の創刊などを決定。さらに

第二回目の開催地として佐賀県西

有田町を選んだ。

また、季刊誌「棚田・ライステ  
ラス」の創刊などを決定。さらに

第二回目の開催地として佐賀県西

有田町を選んだ。

棚田の今姿は、問題の多い日  
本の農業の姿を浮き彫りにしてい  
る。しかし、棚田が私たちの生活  
にもたらしている恩恵や役割につ  
いて、あまり注目されていない。

千賀氏は、「棚田を失うことは  
命の基盤を捨てる行為」と話す。

その言葉は、都市の住民にとって  
も無関係ではない。このサミット  
をきっかけに、まずは棚田の存在  
を知つてもらい、有益な機能とそ  
の景観美をもつと多くの人に理解  
してもらえたと思う。また、そ

のことにより中山間地域で農作業  
をする方々に誇りを持って頂けた  
らと願わざにはいられない。

と連絡協議会の重要性を語った。

サミットの最後には共同宣言を  
全会一致で採択。宣言要旨は次の  
通り。

①定住基盤を着実に整え、地域  
資源を総合的に生かすために、知

恵を絞り、工夫を凝らせて地域の  
活性化を図る。②棚田(農山村社会)

の大切さとその必要性について、知

恵を絞り、工夫を凝らせて地域の  
活性化を図る。③棚田(農山村社会)

の果たしている国土保全や生活・

保健環境などの公益的な機能を適

正に評価し、その維持増進に要す

る経費について財政支援を求める。

また、季刊誌「棚田・ライステ  
ラス」の創刊などを決定。さらに

第二回目の開催地として佐賀県西

有田町を選んだ。

また、季刊誌「棚田・ライステ  
ラス」の創刊などを決定。さらに

第二回目の開催地として佐賀県西

有田町を選んだ。

棚田の今姿は、問題の多い日  
本の農業の姿を浮き彫りにしてい  
る。しかし、棚田が私たちの生活  
にもたらしている恩恵や役割につ  
いて、あまり注目されていない。

千賀氏は、「棚田を失うことは  
命の基盤を捨てる行為」と話す。

その言葉は、都市の住民にとって  
も無関係ではない。このサミット  
をきっかけに、まずは棚田の存在  
を知つてもらい、有益な機能とそ  
の景観美をもつと多くの人に理解  
してもらえたと思う。また、そ

のことにより中山間地域で農作業  
をする方々に誇りを持って頂けた  
らと願わざにはいられない。

# 全国棚田(千枚田)連絡協議会々員

(平成7年12月現在)

## 正会員

## 自治体

24 自治体

新潟県	安塚町	矢野 学	岡山県	建部町	木村 博正
	松之山町	佐藤 利幸	山口県	油谷町	今津 好助
長野県	更埴市	宮坂 博敏	徳島県	井川町	中瀧 清文
愛知県	鳳来町	下江 利幸	愛媛県	内子町	河内 紘一
三重県	飯南町	田中 修八		城川町	河野 泰成
	紀和町	中浦 敏夫	高知県	梼原町	中越 準一
和歌山县	本宮町	中山 喜弘	福岡県	星野村	松永 雅男
鳥取県	佐治村	下石 義忠	佐賀県	肥前町	井上 良富
岡山県	佐伯町	坪井 迪郎		西有田町	藤 寛
	英田町	下山 敏之	長崎県	波佐見町	松尾 常盤
	中央町	池上 彰昌	熊本県	水俣市	吉井 正澄
	加茂川町	片山 舜平	宮崎県	えびの市	松形 良正

## 団体

5 団体

東京都	劇団ふるさときやらばん	石塚 克彦	東京都	株エーオーエー・アオバ	白井 常雄
	イカリカンパニーリミテッド		大阪府	日中友好育英会	芳川 公作
	(株)フリー	塩沢 英次			

## 個人

8名

東京都	牛島 正美		兵庫県	加藤 英二	千枚田オーナー
	高野 光世		広島県	佐々木卓也	
	大崎 正治		愛媛県	田村 俊夫	千枚田オーナー
大阪府	中橋 勉	千枚田オーナー	高知県	杉野 節子	

## 賛助会員

18名

東京都	大橋 力	文部省放送開発教育センター教授	大阪府	森 日出男	千枚田オーナー
	中島 峰広	早稲田大学教育学部教授		野瀬 益三	千枚田オーナー
	岸 康彦	農政ジャーナリズム会会長	兵庫県	茶谷 良明	千枚田オーナー
	八幡美佐子		高知県	鍵岡 正謹	千枚田オーナー
	相田 明				
	牧野 章子				
	森 虎男				
	河合 徳枝	(財)国際科学振興財団			
	新見 正	毛管浄化研究会			
	鎌野 定一				
茨城県	小祝とし子				
神奈川県	木戸 幸子				
京都府	大歳 昌彦	(株)オンステージ			
大阪府	榎木 健治	千枚田オーナー			



## 佐治村

① 鳥取県八頭郡佐治村大字加瀬木  
2519-3  
② 0858-88-0211  
③ 0859-89-1552  
④ JR用瀬駅よりバス15分  
車：国道50号用瀬より482号10分  
179号 人形峠より482号30分  
⑤ 経済課 課長 上田喜清

佐治村では、「若者定住促進報奨金支給条例」を設けています。

佐治村に長期定住の意志で定住し、かつ村内の企業等に就労し魅力ある地域づくり、地域振興に貢献する若者(40歳未満)の者に、1人1回限りとして10万円を報奨金として交付しています。

## 佐伯町

① 岡山県和気郡佐伯町矢田305  
② 0869-88-1101  
③ 0869-88-1506  
④ 岡山駅→JR和気駅よりバス  
15分矢田停留所下車／和気イ  
ンターより車20分  
⑤ 産業振興課 主事補 水島洋

本町は瀬戸内特有の温暖な気候・風土に恵まれ、四方を緑豊かな山に囲まれた美しい自然とのどかな田園が息づく小さな町です。棚田天然米の産地、奥塩田地区は、石積みの棚田が山裾から中腹にかけて階段状に広がっており、自然と調和した美しい農村のたたずまいを残しています。この景観を生かし、小中学生児童に田植え、稲刈り等を体験してもらい、昔ながらの伝統的な栽培技術の伝習と農業の魅力を息吹かせています。

## 英田町

① 岡山県英田郡英田町福本810-2  
② 08687-4-3111  
③ 08687-4-3733  
④ 美作インターより宇野バス  
⑤ 産業課 係長 中川正義

町では、棚田を利用して市民農園型「英田スカイブルークラインガルデン」を設置し、近畿方面の都会者を対象に募集しています。

また、棚田があるところは標高があり、昼夜の気温差があるため水稻の防虫害防除の回数が少ないため、県の推奨品種であるフクヒカリを「安全でおいしい英田の米」をキャッチフレーズで直接消費者に販売しています。

## 飯南町

① 三重県飯南郡飯南町大字粥見  
3950  
② 0598-32-2513  
③ 0598-32-3771  
④ 近鉄名古屋線松坂駅／三重交通  
バス瀬線・森線にて／松坂イ  
ンターより3km／国道166号線西  
へ18km  
⑤ 農政課 課長 武藤廣

何層にも重なる石垣が織りなす造形美、棚田は今、冬支度をしています。稻わらのつんぶり(稻わらを円すい形に積み上げたもの)に露が覆い、のどかな雰囲気を醸し出し、山村ならではの光景です。

昨年10月、集中豪雨により石垣が一部壊滅しましたが、その崩れた石を積む復興作業の姿が目にできます。

今年の緑一面の水田が、待ち遠しい。

## 紀和町

① 三重県南牟婁郡紀和町板屋78  
② 05979-7-1111  
③ 05959-7-1003  
④ JR熊野駅よりバス阿田和停留  
所で乗換え／JR新宮駅よりバ  
ス1時間／車、国道42号・311号  
・168号・169号などを利用  
⑤ 企画観光課商工観光係

谷ノ上雄也

紀和町の丸山地区にある棚田、千枚田は、いつ頃から造られていたのかはっきりしませんが、記録では西暦1601年には、2,400枚、約7haの水田が開かれました。その後、過疎と高齢化に伴い荒廃していた千枚田ですが、先人達が開いた昔の姿を取り戻そうと、地元民らの協力のもと平成5年より田の復元作業が始まり、現在、年に2回、都市住民の参加による田植えまつり、稲刈りの集いが開催されています。

# 全国棚田(千枚田)

## 連絡協議会々員

### 市町村紹介

① 役所の住所 ② 電話番号 ③ FAX番号  
④ 交通 ⑤ 担当部署・担当者

## 安塚町

① 新潟県東頸城郡安塚町大字安塚  
722-3  
② 02559-2-2003  
③ 02559-2-3505  
④ JR直江津駅よりバス・車  
⑤ 農林課 外立茂利一

本町では独自に農業プランを作成しており、また、そこに住む人々も自らで土地利用計画を作成しています。そのことで棚田がかもしだす美しい農村景観あるいは、緑のダムとしての環境保全、農地保全、天然の食料供給地としてその機能を高めています。また、そこに住む人や訪れる人に心の安らぎと豊かさを、さらに棚田地帯だけではなく都市と農村とのネットワーク化を図りながら、幸せ感が持てるまちづくりを展開しています。

## 更埴市

① 長野県更埴市大字杭瀬下84  
② 0262-73-1111  
③ 0262-73-1004  
④ JR屋代駅、姨捨駅下車／  
車で更埴インターハー下りる  
⑤ 農林課農村整備係

係長 清水三郎／長門公春

更埴市では、姨捨伝説・俳諧の聖地として知られる姨捨地区25ha・2,000枚の棚田地帯のうち、荒廃化した水田を国のモデル事業により再整備をし、「田毎の月」を復活させます。

整備した水田は広く県内外の方々にオーナーになっていただき、善光寺平を一望できる景勝の地でお米を作り、ふるさとや水や土に接する機会としていただきたいと考えています。

## 本宮町

① 和歌山県東牟婁郡本宮町本宮219  
② 07354-2-0070  
③ 07354-2-0059  
④ JR新宮駅よりバス50分  
⑤ 産業課 課長補佐 関隆生

本町は紀伊半島南部、大峰山脈に源を発する熊野川の流域に位置し、区域面積20,406haの内93%が森林です。

町の中心にある本宮大社は「蟻の熊野詣」で有名な熊野三山の1つで、町内を縦横に走る熊野古道は熊野信仰を現在に伝える道として訪れる人は絶えません。また川湯、湯峰、渡瀬と特色のある3つの温泉があり、四季を通じて観光客でにぎわっています。

## 鳳来町

① 愛知県南設楽郡鳳来町長篠字  
下り笠1-2  
② 05363-2-1984  
③ 05363-2-1170  
④ 豊川インターより車で50分  
(国道151→257→32号線)／  
JR本篠駅よりバス25分、  
滴上停留所より徒歩40分  
⑤ 商工観光農政課

鳳来町四谷地区にある棚田(千枚田)は、ピーク時には1,200枚以上の水田がありましたが、現在は後継者不足から約800枚あまりに減少しています。

本町では姿を消しつつある棚田(千枚田)を残そうと、休耕田を都市側住民に貸し出すオーナー制度等を含め、保存方法を現在地元耕作者との話し合いにより検討中であります。

## 松之山町

① 新潟県東頸城郡松之山町大字  
松之山1212-2  
② 02559-6-3131  
③ 02559-6-3515  
④ 越後湯沢駅より松之山温泉行  
きバス／石内塩沢インターより國  
道353号線50分  
⑤ 振興課 本山敏雄  
産業課 中島一男

松之山町は新潟県の南西部に位置し、薬効高い温泉と豊かな自然、そして豪雪と人情に厚い町です。町全体が地すべり地帯のため、町内各地に棚田があります。町ではグリーンリース事業を実施し、20区画の棚田をオーナーに貸しています。平成7年6月には「たんばサミット」を開催し、貴重な文化遺産ともいえる棚田の景観美、国土保全能力を残すように訴えました。農作業や雪国体験ができ、温泉街の近くにはスキーキー場もあります。

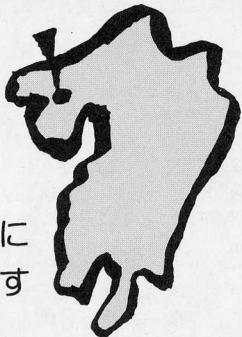
# 速 報

第二回全国棚田(千枚田)サミットは

## 佐賀県西有田町

### で開催

2回目のサミットは、  
平成8年9月10・11日に  
西有田町で開催されます



## 星野村

① 福岡県八女郡星野村13102-1  
② 0943-52-3111  
③ 0943-52-3282  
④ JR羽犬塚駅よりバス80分／ハ  
女インターより車50分／朝倉イ  
ンターより車50分  
⑤ 企画財政課企画係 課長 藤崎正昭

星野村は、福岡県の南東部に位置し、人口4,100名の農山村です。標高200～500mの山腹にかけて、江戸中期から明治初期までに、先人たちが築いた素晴らしい棚田があります。

標高差200m、137段、425枚、耕田面積12haの美しい棚田は「日本の美しい村」として、農林水産大臣賞を受賞した程です。

現在、星野村では地域、農業団体、行政で「景観保全検討委員会」を発足させ、貴重な棚田を後生に残す努力をしております。

## 城川町

① 愛媛県東宇和郡城川町大字下相945  
② 0894-82-1111  
③ 0894-82-0349  
④ JR松山駅より卯之町駅へ。  
JRバス日吉行き途中乗り換  
えで60分  
⑤ 農林業振興協議会事務局  
伊井健一

本町は中山間地にあり、土地条件は必ずしも良いとはいえないが、整備できる水田の殆どが木場整備されています。棚田として残っているのは一部の山間地です。急峻な山肌に見事に組まれている石垣群を見ていると、先人たちの知恵と技の集積である棚田を文化遺産として残し、今後も後継者に伝えていくのが我々の使命ではないかと思いました。これからも棚田を保有する町として、また各市町村共々頑張っていきたいと思います。

## 肥前町

① 佐賀県東松浦郡肥前町大字入野  
甲1932-1  
② 0955-54-1111  
③ 0955-54-2521  
④ 唐津大手口からバス50分／  
車30分  
⑤ 農林課 課長 吉田伍一

本町は東松浦半島西北端にあり、起伏状の丘陵をなし平坦地はわずかです。海岸線から大地までが特に急斜面で、土壤が脆弱であることから地滑りや急傾斜崩壊の危険箇所が多くあります。そのため農道などの整備がされていない農地は、継続的な自己保全管理等により荒廃の一途をたどっているのが実情です。平成六年から町単独予算で、町内の遊休農地の活性と生産性の復活を目的に、落葉果樹の苗木を提供し定植を推進しています。

## 梼原町

① 高知県高岡郡梼原町梼原1444-1  
② 0889-65-1111  
③ 0889-65-0956  
④ JR須崎駅よりバス70分  
⑤ 産業建設課 商工観光係  
係長 西村茂則

日本最後の清流・四万十川源流が流れる本町の神在居の地に千枚田があり、「耕して天に至る」の文字通り石積みで造られた千枚田が山の上まで続いています。この千枚田も、地域の活性化と米価の相対的な低迷により作り手が減り、耕作放棄田が見られるようになりました。このため都市住民にオーナーとなつてもいい、財政的な負担を負つてもうと同時に山村に対する理解を深めてもらおうと企画したのが千枚田オーナー制度です。導入して今年で5年目を迎えます。

## 油谷町

① 山口県大津郡油谷町大字新別名964  
② 0837-32-1111  
③ 0837-32-2778  
④ JR人丸駅より徒歩3分  
⑤ 農林課農務係 梅本武利

本町の棚田は向津具半島に所在し面積は622haあります。この棚田で収穫するコシヒカリは、本町の久津でその生涯を終えたとして言い伝えのある“楊貴妃”にちなんで、長門大津農協向津具支所において「楊貴妃の夢」として販売、消費者から大変な好評を得ています。この棚田を今後も守るために、また、国土保全、水源かん養、文化的な遺産として棚田を持つ意義を都市住民にアピールするため、連絡協議会を広める必要があると思います。

## 中央町

① 岡山県久米郡中央町原田1735  
② 0868-66-1111  
③ 0868-66-2038  
④ JR岡山駅から60分、津山線  
亀甲駅下車／国道53号線岡山  
市より55km  
⑤ 産業課農産係 井伊定弘

わたし達のまち中央町は、岡山県の中央部に位置し、中山間棚田地帯にある長閑かな山村です。

岡山県では、中央町大坪和地区やその他数ヶ所を棚田地区に指定し、農道や水路の工事共同利用農機具の購入、田植えツアーエコツアーや集落営農を進めています。

## 加茂川町

① 岡山県御津郡加茂川町下加茂1173-1  
② 0867-34-1111  
③ 0867-34-1695  
④ 岡山市より車50分／岡山空港  
より車20分  
⑤ 産業振興課 課長補佐  
草知知

本町は県の中心に位置し、標高200mから400mの緩斜面をもつ吉備高原都市の一角を占め、豊かで素朴な自然に囲まれています。町の基幹産業は農業、千守地区を中心に棚田があり、その美しいたたずまいを生かしながら有機無農薬栽培、天日による自然乾燥並びに水車を利用した白米仕上げなど伝統的な栽培技術を生かした手作りの特色ある米作りに取り組んでいます。また、この営農を通じた都市住民との交流も盛んであります。

## 内子町

① 愛媛県喜多郡内子町大字内子甲780  
② 0893-44-2111  
③ 0893-44-4300  
④ JR内子駅より徒歩5分  
⑤ 企画調整課 主任主事 畠野亮一

内子町は、「エコロジータウン・うちこ」をキヤッセフレーズに、町並み保存、景観保全、河川の浄化、照葉の森づくり等、環境に配慮したまちづくりを開いています。特に、農村の暮らしや歴史、景観を保全活用する「村並み保存運動」を山村部で展開、棚田と係わりの深い「堰」の調査や水車小屋の復元などに住民と行政がともに取り組み、美しい村並みの創生を実現することで、新しい産業興しを図ろうとしています。

## 建部町

① 岡山県御津郡建部町福渡489  
② 0867-22-1111  
③ 0867-22-3903  
④ JR岡山駅より津山線40分  
福渡駅下車／岡山インター  
より国道53号線40分  
⑤ 産業振興課 技師 北井隆一

建部町には、棚田が大小合わせて数千枚あるといわれています。

この棚田の荒廃が懸念される中で、保存、荒廃防止を守っていくことは、美しい農村風景を守り、活力ある農村づくりを推進していくためには必要であると考えられます。現在は、営農組合の育成を図り、特別栽培米の生産、体験農業施設、宿泊所等の整備により都市住民との交流を促進しています。

## えびの市

(住) 宮崎県えびの市大字栗下1292  
(T) 0984-35-1111  
(F) 0984-35-0401  
(交) JR吉都線えびの駅下車徒歩5分／九州自動車道えびのインターフェイスより3分  
(回) 耕地課 魁川利男

棚田への思い（想い）…

「眞の幸せ駅」と親しまれ、スイッチバックとループ線で有名なJR「眞幸駅」。この周辺の棚田は風格があります。中でも夫婦で汗して築かれた熊本さん宅は周りを棚田が囲む一軒家。

「息子が2人いますが、ここは私たちで終わりでしょう。」という話に、何か焦りを感じています。

〈棚田現地：JR肥薩線「眞幸駅」下車徒歩10分／市役所より車20分〉

## 水俣市 ・愛林館（棚田）

(住) 市役所 熊本県水俣市陣内1-1-1  
(T) 0966-63-1111/(F) 0966-62-0611  
(住) 愛林館 水俣市久木野1071  
(T) 0966-69-0485/(F) 0966-69-0650  
(交) 市役所 JR水俣駅よりバス5分鹿児島空港より車90分  
愛林館 水俣駅よりタクシー20分空港より車80分  
(回) 愛林館 館長 沢畠亨

海のイメージが強いのですが、水俣川の源流から河口までが水俣市で山も川もあります。源流部には見事な石積みの棚田が広がり、うまい米を作り出している森づくり、山林労働（下刈り・除伐）の合宿、螢鑑賞会などを通じて山林の良さを体験する機械を提供しています。

## 波佐見町

(住) 長崎県東彼杵郡波佐見町宿郷660  
(T) 0956-85-2111  
(F) 0956-85-5581  
(交) JR有田駅よりバス15分、車10分／長崎空港からバス25分JR川棚駅より波佐見行バス20分  
(回) 商工企画課 企画係 古川千秋

本町は全水田面積の約17%が棚田で、その近くには400年の歴史を誇る「窯業（波佐見焼）」の「登り窯跡」が点在し、農工混在化した生活が伺えます。現在は国の減反政策などにより棚田も徐々に荒廃してきており、町内外の人々から景観の保全等が叫ばれています。棚田集落では、農産物加工センターを整備し農家所得の向上と集落伝統文化育成に努めています。町でも小規模農林事業補助金制度を創立し、地域の農業を守り育てています。

## 西有田町

(住) 佐賀県西松浦郡西有田町大木乙2202  
(T) 0955-46-2111  
(F) 0955-46-2100  
(交) JR有田駅より松原鉄道乗り換え、西有田駅下車徒歩1分  
(回) 農林商工課 上瀧幸二

今のように土木機械もない時代に、私たちの先人たちが血のにじむような努力の中で山野を拓いて築き上げた「棚田とため池」。そこでは田植えの労苦を分かち合い、収穫の喜びを共にする連帯と相互扶助の農の心を育み、さらには地域を災害から守り、人々の暮らしを支えてきた歴史があります。町では、これからも棚田を農業生産の場として、消費者の理解と協力を得ながら、先人たちの心を受け継いで行きたいと考えています。

## Information ご案内

### 棚田フォトコンテスト作品 貸し出し中

第1回棚田（千枚田）サミットのイベントとして行われたフォトコンテストは、2,700点を越す応募作品が寄せられました。力作揃いの中、選ばれた入賞・入選作品98点のパネルを貸し出しています（パネル数42点）。

パネルには、春夏秋冬さまざまな顔を持つ棚田の美や、そこで働く人々の力強い姿が叙情的に写し出されています。また、観た方々から「たいへん水準が高い作品ばかり。棚田を巡る日本の旅をしたようで感激しました」との反響が届いております。

さらに、日本の農業を心情豊かにかつ、リアルに撮り続けてきた写真家・英伸三氏のご好意により、英氏撮影の棚田の写真13点を合わせてお貸し

いたします。

●貸出期間 1週間  
(発送から返却までの輸送日含む)

●貸出料金は、  
・一般 9万円  
(1日延長毎に1万円加算)  
・棚田連絡協議会法人会員 4万5千円

●保険料・送料は別途料金

●消費税別途

※尚、貸出料金の一部は、棚田連絡協議会に還元されます

### 「全国カレンダー展」 部門特別賞受賞作品 '96年棚田カレンダー 「棚田は生きている」発売中

草思社よりただ今発売中です。フォトコンテストの入賞・入選作品の中から選ばれた48点が掲載されています。

●内容 カレンダー 12枚／棚田分布地図／解説 1枚／表紙 1枚

●定価 2,200円

※売上金の一部は棚田連絡協議会に還元されます。

尚、書店でもお買い求めできます。  
『新宿紀ノ国屋書店3F、神田神保町  
三省堂書店本店4F、渋谷旭屋書店、  
池袋芳林書店、北千住丸善ら・がある、

蕨 須原屋、三省堂書店 農林水産省売店B1、農林弘済会B1』

### 棚田フォトコン作品

### シリーズ第2弾！

### 棚田写真集2月下旬発売

（講談社刊）

森に棲む小動物やヒマラヤにしか生息しない花など、守っていきたい自然をシリーズにしている「フォトルピナス」（講談社刊）という写真集に、このたび「棚田」が加わることになりました。

写真集には、フォトコンテストの入賞・入選作品より、60点の作品が掲載されます。また、それぞれの作品のカメラマンと、サミットの発案者の1人である石塚克彦氏（劇団ふるさときやらん 脚本・演出家）のエッセイも添えられる予定です。

### お問い合わせ・お申込は

ふるきやらネットワーク  
〒160 東京都新宿区若葉1-6  
インセ ルBOX101

TEL 03-3355-0420

FAX 03-3355-4220

あけましておめでとうございます。第一回棚田サミット以後の動き。11月28日に連絡協議会役員会が、その4日後に同個人会員会議が行われた。後者は関東を中心とした棚田に関心のある人達が集まつた。都会に暮らす我々が棚田に対して何ができるのだろうかと熱の入った討論。あつという間の3時間。そして春に棚田植ツアーやることを決定。また、フォトコンテスト作品展が東京都、高知県、山口県などで開催。コンクリートに閉まれた都市の人々にとって、棚田とそこで働く農民の自然と調和する姿は、疲れた心をリラックスさせる風景であるようだ。それに続き、棚田カレンダーも発売。当事務所にも問い合わせの電話が殺到。その中には、「よく知る故郷の田んぼが写つてるので欲しい」とか「新聞を見て美しい！」と思つたが、棚田つていつたい何ですか？」というのも。棚田の美を都市の人間に知つてもらう良いきっかけであるようだ。美しさの次は日本の重要な資産であることを知つて欲しい。

そしてこのたび棚田・ラステラスがボリュームアップして創刊。ぜひ棚田を通じて地域のネットワーク化に役立てたい。ということで原稿を募集しています。

# 全国棚田分布地図

製作：ふるきやらネットワーク  
中島 峰広（早稲田大学教授）

図は、農水省が1988年に行った「水田要整備量調査」による傾斜1/20以上にある水田を棚田とみなし、その分布を市町村別に示したものである。これには、傾斜が急で(1/6以上)、千枚田といわれるような未整理の10a以下の小区分の棚田から、傾斜の緩やかな(1/20~1/6)、区画整理が行われた10~20aの比較的大きな区画を持つ棚田がまでが含まれている。

これによると、棚田は分布に粗密がみられるものの全国に存在していることがわかる。北海道・青森・茨城・埼玉・東京・沖縄などではほとんどないか、わずかにみられるにすぎない。これに対して、新潟県の頸城丘陵、岡山県の吉備高原、大分県の阿蘇・九重火山山麓は、日本の三大棚田卓越地ということができる。

これらの棚田は、地形的には頸城丘陵のような第三紀層の丘陵地、吉備高原のような隆起準平原、阿蘇・九重のような火山山麓などの緩傾斜地に多くみられ、その存在は地すべりとの関連性が強い。地すべりは、日本の国土を二分するフォッサマグナを境にして、東北日本では頸城丘陵に代表されるような第三紀層地すべり、西南日本では断層線にそう破碎帶地すべりが卓越する傾向がみられる。

